

# 長岡京跡

ながおかきょうあと



## 長岡京のこと、もっと知りたい!!

長岡京のことをもっと知るために、見学施設に足を運んでみてはいかがでしょうか。文化資料館をはじめとする見学施設では、発掘された土器や当時の暮らしを再現した展示を見ることができます。長岡京をぐっと身近に感じることができます。



### 見学施設

- 向日市文化資料館 10:00～18:00(入館17:30まで)  
向日市寺戸町南垣内40-1 ◆TEL.075-931-1182
- 史跡長岡京内裏跡・国登録有形文化財旧上田家住宅 9:30～16:30  
向日市鶴冠井町東井戸64-2 ◆TEL.075-874-1023  
いずれも入館無料 休館日／月曜日(休日の場合は直後の平日)・毎月1日(土・日・月の場合は次の平日)・年末年始(12/28～1/4)  
休館日のお問い合わせは各施設まで



発行 向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20番地 TEL. 075-931-1111

2022.3.18 S1000

# 長岡京って何?



もともと、古代の都っていうのは、天皇の宮殿があるところをいふんだ。

じゃあ遷都っていうのは天皇の引越し?

桓武天皇は784年(延暦3)11月、奈良の都の平城京を廃し、「長岡村」へ都を移しました。その都が長岡京です。794年(延暦13)10月までのおよそ10年間、平安京に都が移されるまで日本の首都として政治や経済、文化の中心地となりました。

天皇が移った先が日本の首都になるのね。

## 道具と技術

当時の人々は、木を巧みに加工し、くしや皿、椀のような小物類から、井戸・宮殿の柱などの大きなものまで作りました。



## 食べ物

米、麦、粟などが主食。キジ、シシの肉や魚介類、野菜やクリ、クルミなども食べました。カマドで煮炊きして、焼き物や木製の器に盛り付けます。

一般庶民のごはん。



長岡京の人々の生活は、どのようなものだったのでしょうか?  
当時の様子をぞいてみましょう。

# 長岡京を大解剖

## 政治

政治は宮殿内の役所で行われ、国の政策が決定されました。役所からは記録用の木簡や筆記用具などが出土し、役人の仕事ぶりをうかがい知ることができます。



古代のオフィス街よ!

## 長岡京の構造

メインストリートである朱雀大路が都の中軸線です。現代の皇居や役所にあたる宮殿(長岡宮)の外周には碁盤の目状に区画された広大な京域が広がり、人々の住居、役所、寺院、市、離宮(天皇の別荘)がおかれました。

## 買い物

都の東西2つに「市」と呼ばれる公営市場があり、人々は日常生活で必要な食料品や衣料品などを買いそろえます。



買い物場所は国が定めていたんだ。

## トイレ

地面に長方形の穴を掘ったものが当時の便器です。汲み取り式が主でしたが、川から水を引いた水洗式のものもあったようです。木のヘラがトイレットペーパーのかわりでした。



## 人々の祈り

華やかな都ですが、人々は常に天候の異常や病気をおそれ、様々な祈りを込めてマツリを行いました。薄い板で人形を作り、これに願いをたくして、川や溝に流しました。また、鬼の顔を描いた土器で病を封じ、土馬やカマド形の土製品では雨乞いをしました。

## 食べ物



## DATA

大きさ:東西4.3km・南北5.3km  
人口:推定約3~5万人  
位置:現在の向日市、長岡京市、大山崎町と京都市の一部にあたります。

